



企画委員会主催の七夕集会有りました。たてわりの小グループごとに願い事を考え、みんなの願いが届くようにと、飾りと一緒に笹につけました。低学年のことを気遣ってあげる高学年の姿も見られ、とても温かい時間となりました。団ごとの七夕飾りは、今、玄関に飾られています。

また、環境委員会が企画したハッピーリーフも、玄関ホールに掲示されています。それぞれが伝えたい「ありがとう」を、葉の形の紙に書いて貼りました。書いた方も書かれた方も心が温かくなり、児童同士の関わりがまた深まるのではと思います。



☆お家でほっとタイム☆

テーマ「親子の手紙」



6月のお家でほっとタイムでは、三行詩に取り組んでいただき、ありがとうございました。楽しい詩や温かい詩など、各家庭の様子が伝わってくるような素敵な三行詩がたくさんありました。

さて今月は、子供、家族のそれぞれが思いを形にし、手紙を通して家族での対話をしてみませんか？今回は、石川県心の教育推進協議会主催の「**親子の手紙**」に応募します。

学校でまとめて提出しますので、切ったり貼ったりせず、そのまま出して下さい。尚、**提出期限を7月18日（火）**とさせていただきます。

(平成28年度親子の手紙より)

朝からせっせと飲み物を用意してたすみれ。えがおでもってきたコップには、二本ストローがささってたよね。「お母ちゃんと一緒に飲みたかったの。」かわいくて、うれしくて、コーヒー牛乳が、何倍もおいしく思えたよ。(母)

おかあちゃんといっしょになかよくのみたかったんだよ。おかあちゃんが、「ありがとう。」っていったからすみれもうれしかったよ。ふたりでのんだら、いつもとちがうあじがしたよ。また、いっしょにのもうね。(小1)

ぼくが友だちとトラブルになった時、お母さんは、ぼくの話聞いてくれてなやんでたね。夜ねていた所に来て泣きながらぼくの頭をなでて、「大丈夫。」と言ったこと知っているよ。その言葉を聞いて元気がでたんだよ。(小3)

学校であったことを話してくれない悠斗。あの日は悠斗から話をしてくれたね。よっぽど辛かったんだね。泣いてたの知ってたんだ。悠斗の気持ちを思うと辛くなったんだよ。何があっても悠斗の味方だし、守るから大丈夫。(母)

あなたならどうする？

～本音で語り合い、考えを深めよう～フロックほっとタイム

低・中・高学年に分かれ、ほっとタイムを行いました。テーマは、高学年が〈クラスの話し合いに参加しない子がいたらどうする？〉、低・中学年が〈遊びに入れてと言ったのに無理と言われらどうする？〉でした。色々な考え方や声のかけ方があることに気付くことができました。

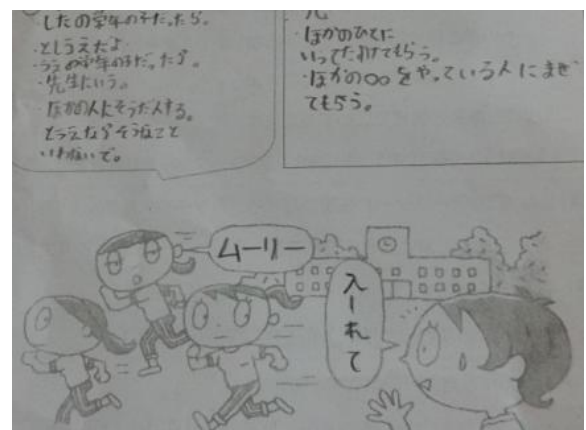
このような機会を通して、相手の思いを受け止めながら自分の思いを表現する態度や、様々な状況に出会ったときに、周りの人と助け合いながらよりよい解決法を見出そうとする態度を身につけていくくれたらと思います。そして何より、その一番根っこには、「自分も幸せ、相手も幸せ」という自他を大切にすることを身につけてほしいものです。



中学年ほっとタイムの様子



高学年ほっとタイムの様子



低学年
ほっとタイム
の様子

